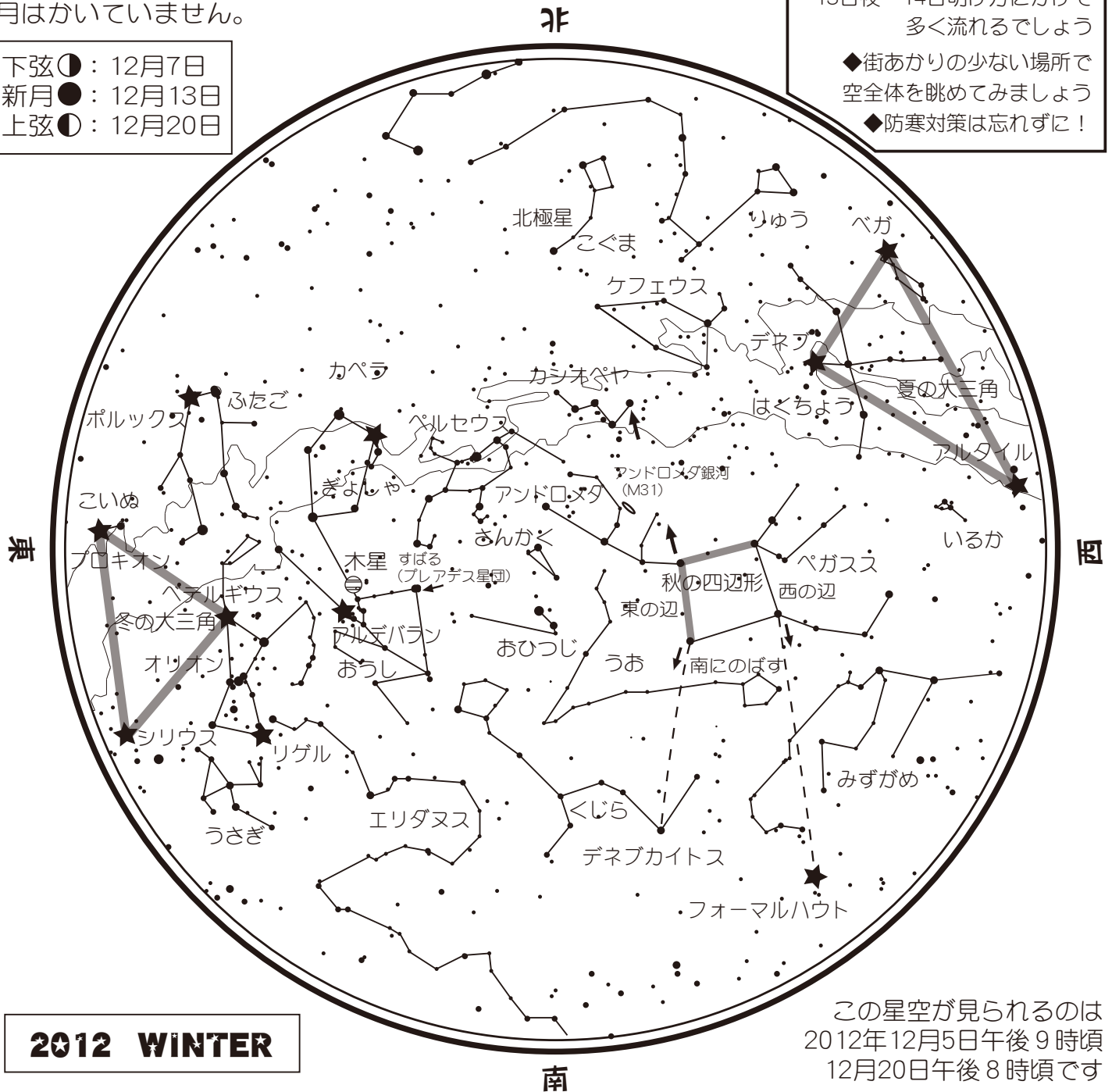


# ★ 姫路で見る12月前半の星空 ★

図の中心が頭の真上(天頂)、まわりの円が地平線です。  
この星図を見るときには見ている方向の方位を下にして下さい。  
★は一等星を表しています。  
月はかいていません。

下弦☾：12月7日  
新月●：12月13日  
上弦☽：12月20日

☆ふたご座流星群を見よう☆  
極大：14日 午前8時  
13日夜～14日明け方にかけて  
多く流れるでしょう  
◆街あかりの少ない場所で  
空全体を眺めてみましょう  
◆防寒対策は忘れずに！



**2012 WINTER**

この星空が見られるのは  
2012年12月5日午後9時頃  
12月20日午後8時頃です

12月は秋の星座と冬の星座、どちらも楽しむことができる時期です。

西の空には秋の四辺形が見えます。東の辺を北にのぼすと、エチオピア王国の王女カシオペヤ座が見つかります。愛娘のアンドロメダ座は、四辺形の星からたどりましょう。平和なエチオピア王国を襲ったのは恐ろしいお化けくじらです。四辺形の東の辺を南にのぼして、二等星デネブカイトスから探しましょう。お化けくじらを退治した勇者ペルセウスはアンドロメダ座の足もとで輝きます。彼の愛馬であるペガサスは四辺形から、たどることができます。

東の空では、太陽系の惑星の一つ「木星」が一番明るく輝きます。まずは木星を見つけて、そこから一等星を探しましょう。オリオン座のベテルギウス、こいぬ座のプロキオン、地平線近くに見えるシリウスを見つけたら、線で結んで「冬の大三角」を作ってみて下さい。

姫路科学館プラネタリウムは休演中です  
2013年3月16日にリニューアルオープンします！お楽しみに